

受検番号

令和八年度滋賀県立高等学校入学者選抜 学力検査 問題用紙

国語

注意

- 1 開始の合図があるまで、問題用紙を開いてはいけません。
- 2 問題用紙は、14ページで、問題は□から○までです。
- 3 開始の合図で問題用紙の各ページを確認し、始めなさい。
- 4 問題用紙の表紙と解答用紙の受検番号欄に、それぞれ受検番号を記入しなさい。
- 5 解答は、全て解答用紙に記入しなさい。
- 6 解答を選択肢から選ぶ問題は、記号で書きなさい。
- 7 漢字は楷書、仮名遣いは現代仮名遣いで書きなさい。

【本の一部A】

一

さとるさんのクラスでは、動物のしっぽについて研究している東島沙弥佳さんが書いた本を読んで、話し合いました。

著作権保護のため削除

(下の段へ続く)

(次ページの上の段へ続く)

著作権保護のため削除

(注)

(東島 沙弥佳『しっほ学』による。一部省略あり。)

ハウツー本：あることをする方法や手順を説明する本。

表象：考えなど、本来形のないものを、別のより具体的な
ものごとによって表すこと。

吻：動物の、口や口の周辺が前方へ突出している部分。

媚を売っている：相手に気に入られようとして機嫌を取っ
ている。

(下の段へ続く)

問題は、次のページにあります。

1 【本の一部A】の にあてはまる言葉として最も適切なものを、次のアからオまでのの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 興奮している イ 降参している ウ 喜んでいる
エ 感心している オ ごまかしている

2 【本の一部A】の —— 線部①について、筆者が「少なからぬ衝撃を受けた」のはなぜですか。最も適切なものを、次のアからオまでのの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 筆者にとってはしつぽこそ様々な情報が読み取れる大切な器官であるのに、他の人々は筆者の思いを全く理解しようとしてくれなかったから。
イ 筆者にとっては動物園は動物の生態を観察するための場所であるのに、他の人々は動物を見るだけで観察しようとしていないと気づいたから。
ウ 筆者にとっては動物の表情と同様にしつぽが大切な観察対象であるが、他の人々は動物のしぐさや表情にしか興味がないのだと思い知ったから。
エ 筆者にとってはしつぽがよく見える後ろ姿こそ好都合であるのに、他の人々はすぐに立ち去ってしまうほど、しつぽに興味がないと知ったから。
オ 筆者にとって動物とはしつぽ以外はどうでもよい存在だが、他の人々の動物園での様子から、自分の考え方は偏っていると思い知らされたから。

3 【本の一部A】の —— 線部②について、多くの人が「後ろ姿にがっかりする」理由を、筆者はどのように考えていますか。九十字以内で書きなさい。

4 【本の一部A】の —— 線部③について、しつぽが「雄弁さに一役買っている」とは、どのようなことですか。解答欄の「とらう」と。「に」つながるように、四十文字以内で書きなさい。

次の【話し合いの一部】は、さとるさんのクラスで【本の一部A】を読んで、話し合った時の様子です。

【話し合いの一部】

さとるさん：【本の一部A】の——部には「人がそこに様々な意義や意味を含ませてきた」と書いてありますが、しっほに関係していて、特定の意味を含んでいるような言葉はありますか。

たなか先生：そうですね。例えば、「しっほをつかむ」という言葉があります。この言葉は、「悪事やたくらみの証拠をつかむ」という意味の慣用句ですが、人間がしっほを持っていたら、生まれなかったかもしれない言葉ですね。

さとるさん：確かに、しっほがあったら、実際にそれをつかんだということを表すだけですよ。

みどりさん：なるほど、人間にしっほがないからこそ、慣用句として成立するんだね。「人間にしっほがあったとしたら」ということを仮定するのも、おもしろいかもしれないね。

たなか先生：よい視点ですね。同じ筆者の文章に、このようなことが書かれていますよ。【本の一部B】を見てください。

【本の一部B】と問いの5は、次のページにあります。

著作権保護のため削除

(東島 沙弥佳 『しっほ学』による。)

(注) PC : パソコン (パーソナルコンピュータ) のこと。

バイオメテイクス : 生物のかたちを、新しい製品の開発などに応用する科学技術。

5 【本の一部B】の——線部④について、「数パターンの用意があり、自由に着脱しながら場面に応じて使い分けられる「しっほぎ」理窟のしっほ」と筆者が言うのはなぜですか。その理由を【本の一部B】の内容をふまえて書きなさい。

検査問題は、次のページに続きます。

【本の一部】

二

あおいさんたちは、本を読んで話し合いました。次は、その時に読んだ【本の一部】と、その時の【話し合いの一部】です。これらを読んで、後の1から4までの各問いに答えなさい。

著作権保護のため削除

(下の段へ続く ↓)

(次ページの上の段へ続く ↑)

著作権保護のため削除

(池谷 裕二)

『できない脳ほど自信過剰』による。一部省略あり。

(注) 齟齬…物事の食い違い。

演算…計算すること。ここでは、情報を脳で処理すること。

ファジー…曖昧であること。

「サイエンス」…アメリカの科学学術誌の名称。

ジョンズ・ホプキンス大学…アメリカの大学。

(下の段へ続く)

1 【本の一部】の□にあてはまる言葉として最も適切なものを、次のアからオまでの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 現実

イ 完全

ウ 普遍

エ 共通

オ 同一

2 【本の一部】の——線部①について、次の(1)、(2)の各問いに答えなさい。

(1) 記憶の仕組みがこのようになって理由を、八十字以内で書きなさい。

(2) このことを簡潔に表現した箇所を、【本の一部】から、十字以上、十五字以内で抜き出して書きなさい。

3 【本の一部】の——線部②について、この実験のどのようなところが「冒頭の話と一致」しますか。最も適切なものを、次のアからオまでの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 右目で見た時と左目で見た時のコップの位置が異なるので、何も考えずに手を伸ばしてもコップに到達することができないが、試行錯誤の末に脳が正しくコップの位置を記憶すると、目に見える像と関係なく到達できるようになるといふところ。

イ 視覚で確認できる直接的な映像情報に頼り切っていると、いつまでもコップのところへ手を伸ばすことができないが、試行錯誤しながらゆっくりと手を伸ばす理想的な速度を記憶すると、常にコップに到達することができるようにになるといふところ。

ウ 視野を変化させると、目に映るコップの位置情報と手を伸ばす感覚とのずれが生じるので、最初はコップに到達することが難しいが、何度も試行錯誤することで、ずれが修正され、うまくコップに到達することができるようにになるといふところ。

エ 目から入ってくる情報と実際のコップの位置が異なっても、脳の学習機能により最初からコップに到達できるが、何度も試行錯誤してコップに手を伸ばす練習をすることで、どれほど視野がずれたとしても一度でコップに到達できるようになるといふところ。

オ 視覚が受け取る情報と本来のコップの大きさや位置がずれているうちは正しくコップに到達できないが、視覚が受け取る情報を脳が随時修正することで本来のコップの姿が見えるようになり、試行錯誤しなくても、コップに到達できるというところ。

次の【話し合いの一部】は、あおいさんたちが【本の一部】を読んで、話し合った時の様子です。

【話し合いの一部】

あおいさん：【本の一部】の最後に、エジソンの言葉が引用されているけれど、どうしてここで、この言葉が引用されているのかな。

ふたばさん：エジソンの言葉は、何度失敗したとしても、それは次につながる経験であり、意味のあることだ、ということと言っているんだと思うよ。

あおいさん：失敗を認めたくないから、『失敗』じゃなくて、『発見』だと主張しているだけだということはないのかな。

ふたばさん：失敗したことであきらめてしまうのではなく、失敗した結果も「発見」と捉えて、次に

生かしていったところがエジソンのすばらしさなんだと思う。そんなふうには、たとえ結果が失敗であっても前向きな意識を持って取り組むことが、最終的に成長につながるんだと思うよ。

あおいさん：なるほど、そう考えると、この文章のまとめの部分で引用されている意味が分かるね。

さとう先生：話し合いを通して、【本の一部】の読みが深まりましたね。失敗した経験を生かすことで成長できるという体験は、いろいろな場面で見られそうですね。

4 【話し合いの一部】の——線部について、「失敗した経験を生かすことで成長できる」体験には、どのようなものがあると考えますか。次の条件1から条件3にしたがって書きなさい。

条件1 【本の一部】、【話し合いの一部】をふまえて書くこと。

条件2 具体例を挙げて書くこと。

条件3 原稿用紙の正しい使い方にしたがって、百字以上、百四十字以内で書くこと。

三

次の1から4までの各問いに答えなさい。

1 次の①から⑤までの文中の——線部のカタカナを漢字に直して書きなさい。

- ① 親友からの忠告を気にトめる。
- ② ヨットで世界中をコウカイする。
- ③ オークストラのシキ者に就任する。
- ④ 方位ジシンを使って方角を調べる。
- ⑤ 暖かな日差しを全身にアびる。

2 次の①から⑤までの文中の——線部の漢字の正しい読みをひらがなで書きなさい。

- ① 地中深くまで洞窟が続いている。
- ② 商品のサンプルを頒布する。
- ③ 歓迎の催しが盛大に行われる。
- ④ 彼女は朗らかな声で話す。
- ⑤ あの店はおいしいと専らの評判だ。

3 次の文章を読んで、後の①、②の各問いに答えなさい。

著作権保護のため削除

(齋藤 孝 『新聞力』による。一部省略あり。)

① 線部「の」の用法と同じものを、次のアからオまでの文中の——線部の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 君のおかげで舞台が成功した。

イ 筋道の通ったことを言う。

ウ 体験を通しての学びがあった。

エ もうすぐ日の昇る時間だ。

オ 別の方法を試すのも面白い。

② ——線部AからDまでの中で、品詞が異なるもの一つを選び、記号で答えなさい。

4 次の【古文】は、『おくのほそ道』の一部です。ひかるさんのクラスでは、【古文】を読んで、話し合いました。【古文】と【話し合いの一部】を読んで、後の①から③までの各問いに答えなさい。

【古文】

【話し合いの一部】

著作権保護のため削除

ひかるさん…『おくのほそ道』は、「月日は百代の過客にして行はたかきかふ年もまた旅人なり。」から始まる、松尾芭蕉まつおびせうの有名な作品ですよ。

てらい先生…そのとおりです。今ひかるさんが取り上げた部分は、「時間は絶えず過ぎ去っていくものだ」ということを言っています。

みずきさん…【古文】の「三大の榮耀一睡のうちにして」も、同じようなことを言っているんでしょうか。

てらい先生…そうですね。「功名一時の草むらとなる」のところも、同じです。「無常」という言葉がありますが、この言葉は「この世に永遠のものはなく、どんなものごとも、時間が過ぎるとそのままであり続けることはできない」ということを表しています。

ひかるさん…ああ、だから「夏草や…」の句は、□の字を用いるんですね。

みずきさん…松尾芭蕉も、ともに旅をした會長も、日本の各地で目に映った景色やその地の歴史などに、思いを馳せていたんですね。

てらい先生…そうした思いや、折にふれて心に浮かんだことを、五・七・五のわずか十七音に込めて表現するのが、俳句の面白さなんですよ。

①【話し合いの一部】の——線部を現代仮名遣いに直し、全てひらがなで書きなさい。

②【古文】の□にあてはまる言葉として最も適切なものを、次のアからオまでの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 足 イ 昔 ウ 夢 エ 涙 オ 城

③【古文】の——線部について、松尾芭蕉が涙を流した理由として最も適切なものを、次のアからオまでの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア この地を長年支配していた武士も今となっては過去の存在となり、旅をしてまでこの地を訪れて彼らに思いを馳せる者も自分だけだと思ふと、人間の薄情さを痛感したから。

イ この地に来るまでに長い時間がかかったので、江戸の友人たちが自分を忘れてしまったらと思うと、人と人との関係のはかなさを感じ、自分の人生が無意味に感じられたから。

ウ 江戸から遠く離れた東北の地を訪れると、そこには確かに歴史の営みがあったと感じられる風景があり、長い時間がたっても鮮やかに当時の様子が思い浮かぶことに感激したから。

エ かつて武士たちが活躍した歴史があるにも関わらず、今では昔の面影が失われてしまった光景を目にし、自然と比べてはるかに短い人の営みのはかなさを改めて実感したから。

オ 武士の栄華を象徴するような建物が残っていない様子を目にして、形あるものはかなさを実感する一方、自分の名声のような形のないものは失われることはないことを確信したから。

